

がん患者・家族・一般消費者を対象とした がんゲノム医療に関する調査

Topics

- ✓ がん遺伝子パネル検査の保険適応取得1年後時点において、がんゲノム医療について「**見聞きしたことがあり、内容を知っている**」と回答したのは**8%**。また、実際に検査を受けたことがあると回答したのは、患者・家族1151名のうち**3%**であった。
- ✓ がん遺伝子パネル検査に対して懸念することについて、患者・家族・一般消費者の間に大きな差はなく、「**検査費用が高額であること**」や「**検査を受けられる施設が限られていること**」などが上位に挙げられた。（自己負担額について「高額」「やや高額」と回答したのは91%）
- ✓ 仮に自身が検査の対象となった場合に「がん遺伝子パネル検査を受けたい」と回答したのは**44%**。検査を受けたい理由として「治療選択肢が増えるなら」「検査データが家族や将来のためになるなら」と前向きな意見も多かった一方で、検査を受けたくない理由としては、「**自己負担額が高額**」「**必ずしも治療につながるわけではない**」等の**不安の声**が多く見られた。

調査背景・目的

- ✓ 2019年6月に遺伝子パネル検査が保険適応を取得し、本邦におけるがんゲノム医療がスタートしてから約1年が経過した。
- ✓ がん患者や家族、一般消費者へどの程度ゲノム医療が浸透しているのか、また、どのようなことを期待・懸念しているのか等を把握するために調査を行った。

調査概要

調査方法 : インターネット調査（全国）
 使用パネル : インテージ キューモニター
 調査期間 : 2020年7月17日～20日
 対象 : 患者...現在がんの治療で通院している／定期的に診察に通っている
 家族...現在、同居している家族ががんの治療で通院している／定期的に診察に通っている
 一般消費者...がんの既往歴がない ※がん患者家族を除く

有効回答数 :

TOTAL	がん患者	がん患者の同居家族	一般消費者
1682s	636s	515s	531s

※脳腫瘍、頭頸部がん、舌がん、甲状腺がん、唾液腺がん、肺がん、乳がん、食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆のうがん、胆管がん、膵臓がん、腎細胞がん、腎盂・尿管がん、膀胱がん、精巣がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、皮膚がん、悪性黒色腫、悪性骨軟部腫瘍、小児がん、原発不明がん、血液がん など

調査結果 ※一部抜粋

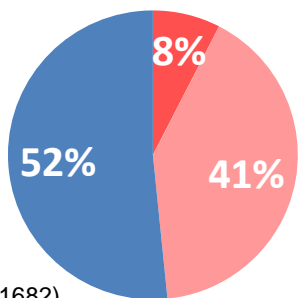
認知状況

※ 簡易資料を提示して認知度を聴取

Q. あなたはこれまでに「がんゲノム医療」「がん遺伝子パネル検査」について見聞きしたことはありますか。

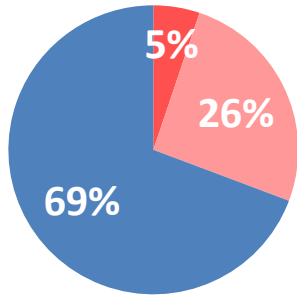
<がんゲノム医療>

■ 見聞きしたことがあり 内容を知っている
 ■ 見聞きしたことがあるが 内容を詳しく知らない
 ■ 見聞きしたことはない



(n=1682)

<がん遺伝子パネル検査>

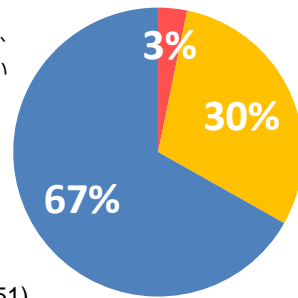


がん遺伝子パネル検査 実施状況

Q. あなたご自身、または同居している家族は、これまでにがん遺伝子パネル検査を受けたことがありますか。

■ 自身／家族が 検査を受けたことがある
 ■ 見聞きしたことはあるが、検査を受けたことはない
 ■ 見聞きしたことはない

[回答：患者、家族のみ]



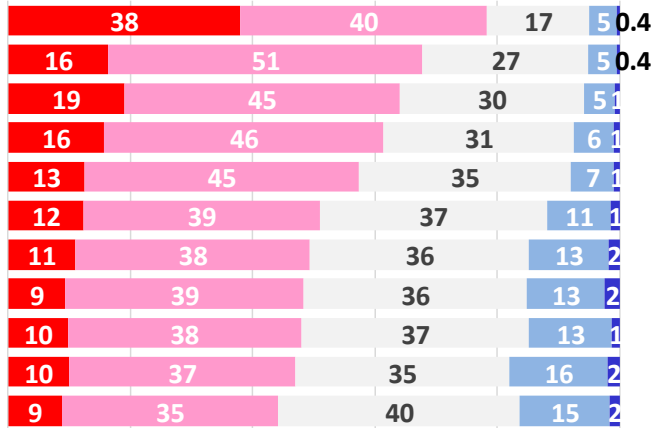
(n=1151)

がん遺伝子パネル検査に対して懸念すること

Q. あなたががん遺伝子パネル検査に対して懸念することはどのようなことですか。以下の項目について「非常に懸念する」～「全く懸念していない」のうち最もあてはまるものをお知らせください。

■ 非常に懸念する ■ 懸念する ■ どちらともいえない ■ 懸念していない ■ 全く懸念していない (n=1682)

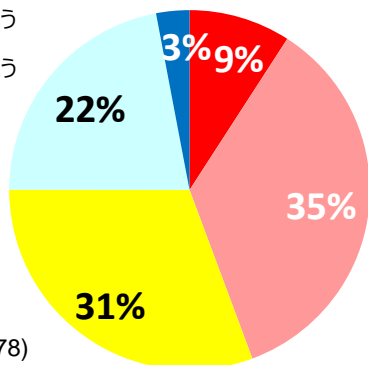
- 高額な検査であるため自身の経済的負担
- 検査を受けられる病院が限られていること
- 高額な検査であるため日本の医療費増大の加速につながる
- 検査をしても治療が見つからない可能性がある
- 患者一人あたり1回までしか検査を受けられないこと
- 主治医あるいは病院スタッフが検査の説明をしてくれないこと
- ゲノム情報などの個人情報適切に守られるのかどうか
- 遺伝するがんが見つかり家族に影響がおよぶかもしれないこと
- 検査を受けることによる身体的負担
- 遺伝するがんが見つかる／知ること
- 検査を受けることによる精神的負担



検査を受けたいと思うか

Q. 仮に検査の対象となった場合、あなたはがん遺伝子パネル検査を受けたいですか。

- 自ら検査を受けたいと医師に相談したい
- 医師から勧められたら検査を受けることを検討したい
- どちらともいえない／わからない
- おそらく検査は受けないと思う
- 絶対に検査は受けないと思う



(n=1678)

<検査を受けたい理由>

- 既に再発して治療選択肢が減っているため、可能性を広げるために何でもやりたい [患者]
- 主治医を信頼しているため医師の勧めなら [患者]
- 自分のデータが家族や他の人に役に立つ [家族]
- がん家系なので知っておきたい [一般]
- 未来に罹るかもしれない病気を防げるならお金を出しても知っておきたい [一般]

<検査を受けたくない理由>

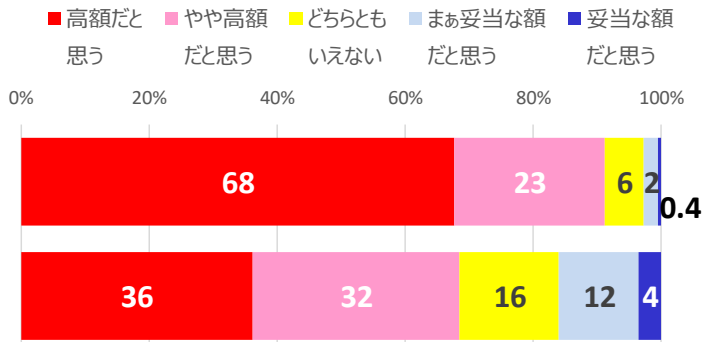
- 必ず結果が得られるわけではない [患者]
- 高額である [患者]
- 知りすぎることは精神的に負担がかかる [患者]
- 年齢的に無理して受けるものでもない [家族]
- 複雑で難しい。周りで聞いたことがない [一般]
- がんである、なりやすいことを知るのはつらい [一般]

がん遺伝子パネル検査の費用について (n=1682)

Q. がん遺伝子パネル検査の費用について、保険診療での検査費用は56万円となりますが、この検査費用についてどのように思いますか。

① 実際の負担額を提示して聴取
1割負担：5万6000円/2割負担：11万2000円
/3割負担：16万8000円

② 高額療養費制度の情報を提示し、適用になった場合の検査費用の負担額について聴取



考察

- ✓ がんゲノム医療について「見聞きしたことがある」と回答した割合は約半数と多かったが、インターネットやTV等で目にした程度、病院でパンフレットをもらったなど認知度合いは様々であった。また、オーダーメイド治療の促進など遺伝子パネル検査に対する期待がうかがえる一方で、自己負担額に対して「高額」という印象が非常に多かった。費用に見合う検査のメリットについて理解・納得した上で検査を受けることで、患者さんにとっての治療満足度の向上につながると考えられる。検査に関する正しい情報がどのように普及していくのか、今後の浸透に注目していきたい。

調査項目 ※一部抜粋

浸透度	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゲノム医療・パネル検査 認知度 ■ パネル検査の説明を受けた・検討した・実施した経験 ■ 自身で調べた情報・媒体
マインド把握	<ul style="list-style-type: none"> ■ パネル検査に関する期待・懸念 ■ 検査を受けてみたいと思うか ■ 費用についての印象 ■ 高額療養費制度を利用した場合の費用についての印象 ■ 遺伝性腫瘍についての考え方
情報入手	<ul style="list-style-type: none"> ■ がんゲノム医療に関する情報入手経路 ■ 健康/がん治療に関する情報入手経路

データ詳細についてはお気軽にお問合せください。

「がん種別に見ると何か違いはある?」「進行再発患者では認知度は違うの?」「居住エリアでは?」 etc...

➤ ローデータ+集計データ 80万円 (税別)

※詳細分析、アウトプット作成等は別途ご相談ください。

★ 患者・家族・一般消費者1500名を対象とした各種調査を実施!

- オンコロジーメーカー認知・評価調査
- PHRに紐づくアプリ利用意向調査

オンコロジー領域の調査は、インテージヘルスケアへ!

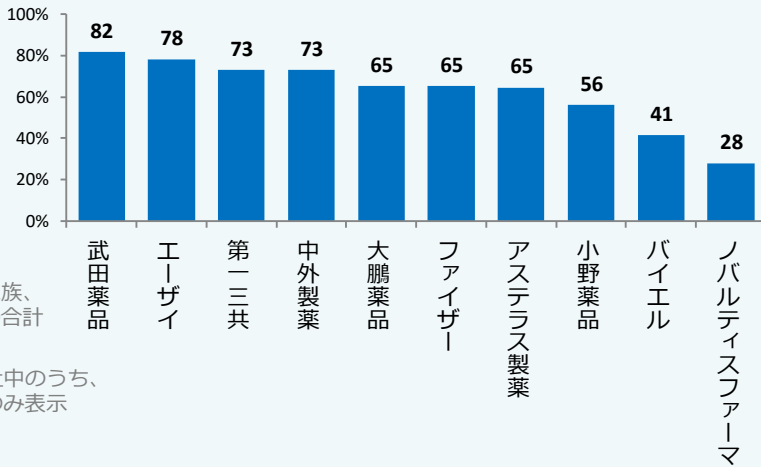
本調査に関する
お問い合わせ

www.intage-healthcare.co.jp
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ13階 電話: 03-5294-8393 (会社代表)
メディカル・ソリューション部 オンコロジー領域専門グループ
メール: ant-onc@intage.com
担当: 安達 (あだち)・森田 (もりた)

オンコロジーメーカー認知・評価調査

がん患者、家族、一般の方 約1600名に聴取！

製薬会社
認知率



(n=1682)
※患者、家族、一般の方の合計

※聴取18社中のうち、上位10社のみ表示

➤ 約30がん種のがん患者と家族

(脳腫瘍、頭頸部がん、舌がん、甲状腺がん、唾液腺がん、肺がん、乳がん、食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆のうがん、胆管がん、膵臓がん、腎細胞がん、腎盂・尿管がん、膀胱がん、精巣がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、皮膚がん、悪性黒色腫、骨軟部腫瘍、小児がん、原発不明がん、血液がんなど)

➤ がん既往歴のない一般の方

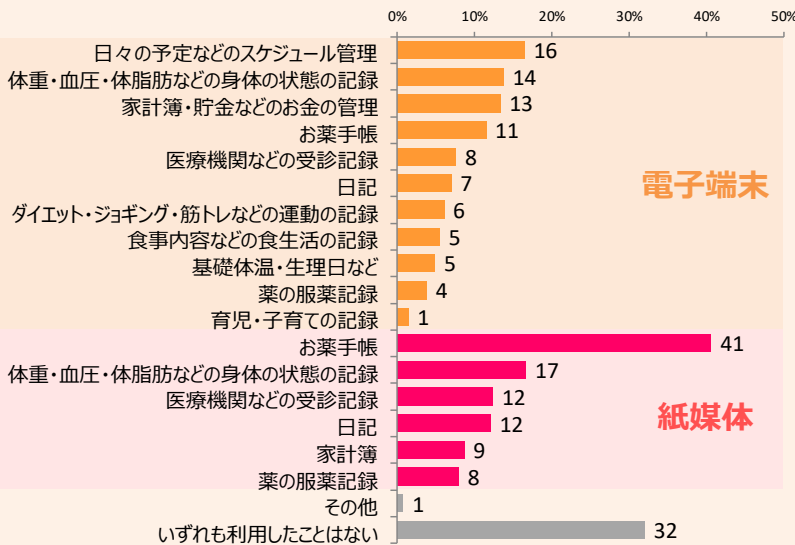
＜聴取項目例＞

- これまでに見聞きしたことがある製薬会社
- がんの治療薬を扱っている製薬会社 認知度
- がんの治療に貢献していると評価している製薬会社
- がんの治療に貢献していると評価する理由
- 製薬会社について見聞きする機会・ツール
- がん治療に携わる製薬会社に期待すること
- 情報入手経路（健康に関する情報、がんの治療に関する情報）

PHRに紐づくアプリ意向調査

記録したことがある情報・媒体

(n=1682) ※患者、家族、一般の方の合計



＜聴取項目例＞

- 記録したことがある情報・媒体 — 記録頻度、継続した期間
- PHRアプリの使用意向
- PHRアプリの継続意向／理由

その他、通院手段や通院時間、医療機関の滞在時間、点滴時の過ごし方 など

オンコロジー領域の調査は、インテージヘルスケアへ！

www.intage-healthcare.co.jp

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ13階 電話：03-5294-8393（会社代表）

メディカル・ソリューション部 オンコロジー領域専門グループ

メール：ant-onc@intage.com

担当：安達（あだち）・森田（もりた）

本調査に関する
お問い合わせ

オンコロジー領域のことなら